

【広島市消費者物価指数】

1 平成23年2月の動向

- 広島市総合指数（99.8）は前月比で4か月ぶりに上昇。前年同月比は3か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で4か月ぶりに上昇。前年同月比は23か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.3）は前月比で上昇。前年同月比は23か月連続で下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.8	0.3	▲0.1
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	99.7	0.3	▲0.4
食 料（酒類を除く）及び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合 指 数	97.3	0.1	▲0.8

3 前月からの動き

～食料、被服及び履物は上昇。住居は下落。～

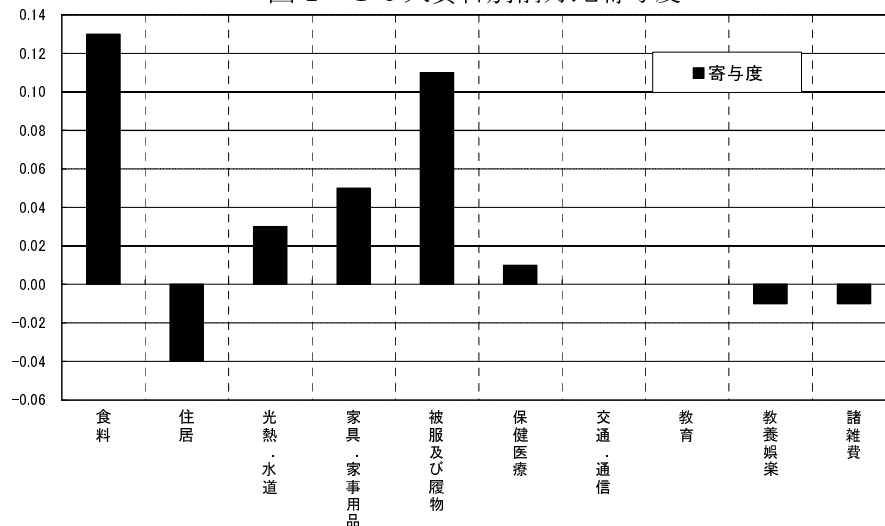
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.8	103.5	99.6	106.3	80.2	102.4	97.7	98.8	93.5	92.5	107.8
前月比 (%)	0.3	0.5	▲0.2	0.5	1.8	2.1	0.2	0.0	0.0	▲0.1	▲0.1
寄与度	0.3	0.13	▲0.04	0.03	0.05	0.11	0.01	0.00	0.00	▲0.01	▲0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：果 物（前月比 ▲11.8%，寄与度▲0.12）等
住 居：家 賃（前月比 ▲0.3%，寄与度▲0.05）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (レタス 等)	3.9%	果物 (いちご 等)	▲11.8%
外食 (ピザパイ 等)	1.5%	家賃 (持家の帰属家賃[木造中住宅] 等)	▲0.3%
シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	5.1%	交通 (料金[JR 在来線] 等)	▲0.8%
洋服 (婦人スーツ[秋冬物] 等)	1.7%	穀類 (あんパン 等)	▲0.6%
肉類 (牛肉[ロース] 等)	1.3%	教養娯楽用品 (コンパクトディスク 等)	▲0.5%

4 前年同月からの動き

～諸雑費、被服及び履物が上昇し、教育、住居が下落。～

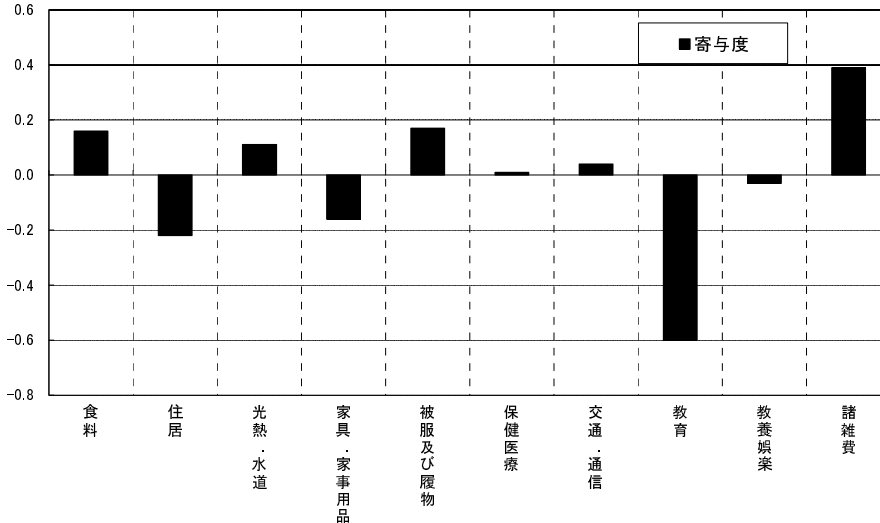
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲0.1	0.6	▲1.2	1.6	▲5.2	3.4	0.3	0.3	▲11.8	▲0.3	6.2
寄与度	▲0.1	0.16	▲0.22	0.11	▲0.16	0.17	0.01	0.04	▲0.60	▲0.03	0.39

(参考) 主要要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 育：授 業 料 等 (前年同月比▲16.0%， 寄与度▲0.59) 等
 諸 雑 費：た ば こ (前年同月比 38.6%， 寄与度 0.25) 等
 住 居：家 賃 (前年同月比▲ 1.3%， 寄与度▲0.20) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
たばこ (たばこ[国産品] 等)	38.6%	授業料等 (公立高校授業料等 等)	▲16.0%
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	6.9%	家賃 (持家の帰属家賃[木造中住宅] 等)	▲1.3%
果物 (みかん 等)	15.2%	穀類 (食パン 等)	▲3.3%
シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	10.3%	室内装備品 (カーテン 等)	▲17.3%
野菜・海藻 (キャベツ 等)	3.2%	寝具類 (布団 等)	▲13.9%